

次世代電子情報利活用推進フォーラム 2020年度 研究会活動について

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）

次世代電子情報利活用推進フォーラム (次世代フォーラム) について

- JIPDEC（以下、当協会）では、電子情報の安心・安全な利活用を促進し新たなビジネス・サービスの創出や政府への提言につなげていくために、産官学で連携し、業界を越えて情報交換・検討を行える場として、「次世代電子情報利活用推進フォーラム（略称：次世代フォーラム）」を設置しています。
 - <https://www.jipdec.or.jp/kaiin/faudi.html>
- 次世代フォーラムでは、社会的ニーズや会員の皆様のご要望により研究会を設置し、会員企業の方、有識者の方々と議論する場としています。

2020年度からの検討体制

- 次世代フォーラムに政策テーマごとの研究会を設置
- スマートシティ、シェアリングエコノミー、デジタルガバメントの3つのテーマで研究会を設置予定

次世代電子情報利活用推進フォーラム

スマートシティ研究会

(7/31活動開始)

シェアリングエコノミー研究会

(仮称)

デジタルガバメント研究会

(仮称)

政策トピックスセミナー (仮) (年二回程度開催)

意見交換会 (関係府省からの依頼によるヒアリングなど。随時)

設置する研究会について

- 政策テーマごとに研究会を設置
- 座長は関連する有識者を設置予定
 - また関係府省のオブザーバ参加を調整
 - 議論を通じて、実証提案、規制緩和提案などを実施する予定。

研究会名（仮称）	概要	関連政策
スマートシティ研究会	スマートシティにおける高精度測位、データ利用の検討を実施	統合イノベーション戦略2019など
デジタルガバメント研究会	デジタルガバメントにおける特に官民のデータ連携と、新たなサービスモデルの検討を実施	デジタルガバメント実行計画など
シェアリングエコノミー研究会	P2Pサービスにおけるパーソナルデータの利用、市場規模の算出方法の検討を実施	シェアリングエコノミー検討会議報告書など

※上記以外に、EDTech、ブロックチェーンについての研究会などを調整中です。

スマートシティ研究会の今年度の進め方

- スマートシティ研究会で今年度取り上げるテーマ
 - 座長：D4DR株式会社代表取締役 藤元健太郎
 - 第一回 スマートシティの光と影 (7/31実施)
 - 第二回 スマートシティとモビリティ革命
 - 第三回 本気で考えるデジタルツインとスマートシティ

第一回スマートシティ研究会

- 第一回テーマ スマートシティの光と影（7/31実施）
 - ゲスト：株式会社rimOnO 代表取締役社長 伊藤 慎介氏
 - スマートシティの成功例、失敗例から我々は何が学べるか。アフターコロナでスマートシティ構想はどのように変わるのか。 実際のスマートシティ構想ーGoogle（の親会社であるアルファベットのSidewalk Labs）が撤退したカナダ・トロントのSidewalk Toronto構想などの例から何を学び取れるか
 - スマートシティの肝である街づくりに重要な要素、技術、財政、市民の問題をどう考えるか

次回以降のテーマについて

● 第二回 スマートシティとモビリティ革命

- 未来の都市とモビリティはどうか。「スマートシティ＋MaaS＝自動運転」には、安全性の問題がある。解決の糸口として注目される「低速自動運転」は移動だけではなく自動配送やロボティクスにも未来がつながる。スマートシティにおける新しいモビリティの時代はどうか議論する。

● 第三回 本気で考えるデジタルツインとスマートシティ

- コロナ禍によって誰もが感じたデジタル化後進国・日本の現状。注目されるコンタクトトレーシング、リアルタイムシミュレーション、マルチハビテーションなど、デジタルツイン問題を本気で考える時本当に必要なのは何か。制度、アーキテクチャーも含めたスマートシティのデジタルツイン問題について議論する。

次世代フォーラムご入会のご案内

● 会員特典

- 当フォーラムに設置される研究会や、適宜開催される会員限定の情報交流会にご参加いただけます。
- 当協会が主催するJIPDECセミナーに、会員企業の方はいつでも無料でご参加いただけます。また、会員専用サイトでは、講演資料等をいつでもご覧いただけます。
- 年会費 10万円（税別）

● フォーラムに関するお問い合わせ・入会のお申し込み

- 入会ご希望の場合は、事務局までお問い合わせください。

お問い合わせフォーム